

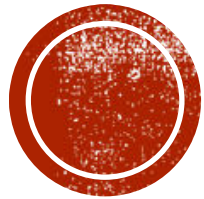
医師資格証の現状と今後の展望について

2017年9月30日



日本医師会電子認証センター

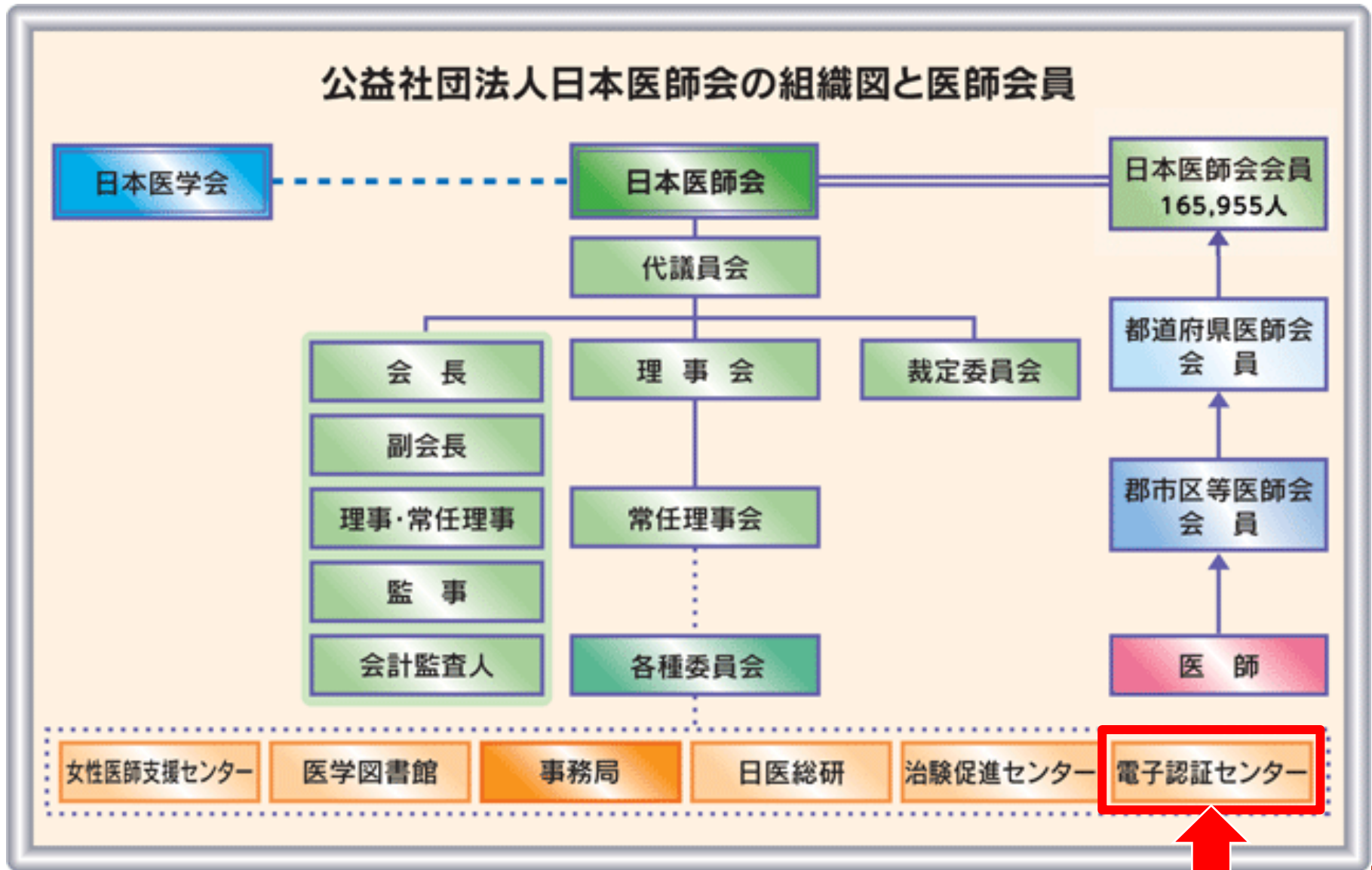
矢野 一博



電子認証センターと 医師資格証について

日医組織体制図

公益社団法人日本医師会の組織図と医師会員



日本医師会の内部付属機関として設置（2013年10月）

電子認証センターの事業概要

日本医師会電子認証センターでは、以下の事業を行います。

1. 医師資格を証明する電子証明書（ICカード）の発行事業

本センターの基幹となる事業として、医師資格を証明する電子証明書ならびに証となるICカードの発行及びICカードの活用。

- 電子証明書の発行に係る登録、審査業務
- 登録個人情報の管理、メンテナンス、安全管理
- 地域や病院における審査局の設置支援業務
- ポータル機能の提供
- その他、ICカード発行に係る必要な事項

2. 認証局を活用するセキュリティを確保した医療IT基盤の整備事業

地域でITを用いた連携基盤を構築する際に日医認証局の利用を促し、標準的な認証手段を提供することで安全・安心な基盤を整備するための事業。

- 医療ドキュメントのe-文書法対応のための、電子署名環境の整備
- 日本医師会医療認証基盤（シングルサインオン基盤）の導入促進による標準的なログイン基盤の整備
- 生涯教育ポイント管理システムの提供
- その他、セキュリティ確保のために必要な基盤の整備（セキュリティ対策支援など）に関わる事項



医師資格証とは

日本医師会（電子認証センター）が医師の資格を証明するために発行するICカードが「**医師資格証**」です

(表)



医師資格証の有効期限は、発行日より
5年間有効

(裏)



ICチップ内の電子証明書の有効期限は
発行日より5年間有効

医師資格証は、日医認証局が発行する医師資格証を証明する電子証明書を格納しています。この電子証明書は、厚生労働省の保健医療福祉分野PKI認証局（HPKI）の電子証明書です。

医師資格証の使い方

1. 身分証としての活用

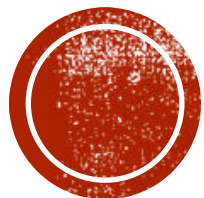
医師会等の内部で身分証として活用したり、今後、緊急災害時（JMAT活動等）や交通機関で急病人対応のような時に提示して、医師資格保有者であることを証明できるようにする。また、平時でも各医療機関の採用時における資格確認に利用できるよう、各行政機関や関係団体に協力依頼や働きかけを行っていく予定。

2. 非接触カードとしての活用

研修会や講習会時に、医師資格証を読み取り機にかざすだけで出欠の管理ができる仕組みを構築する。更に、生涯教育制度講習会や認定医講習会と連動して、受講履歴や単位取得状況の確認をリアルタイムにできる仕組みも構築する予定。

3. ITでの活用

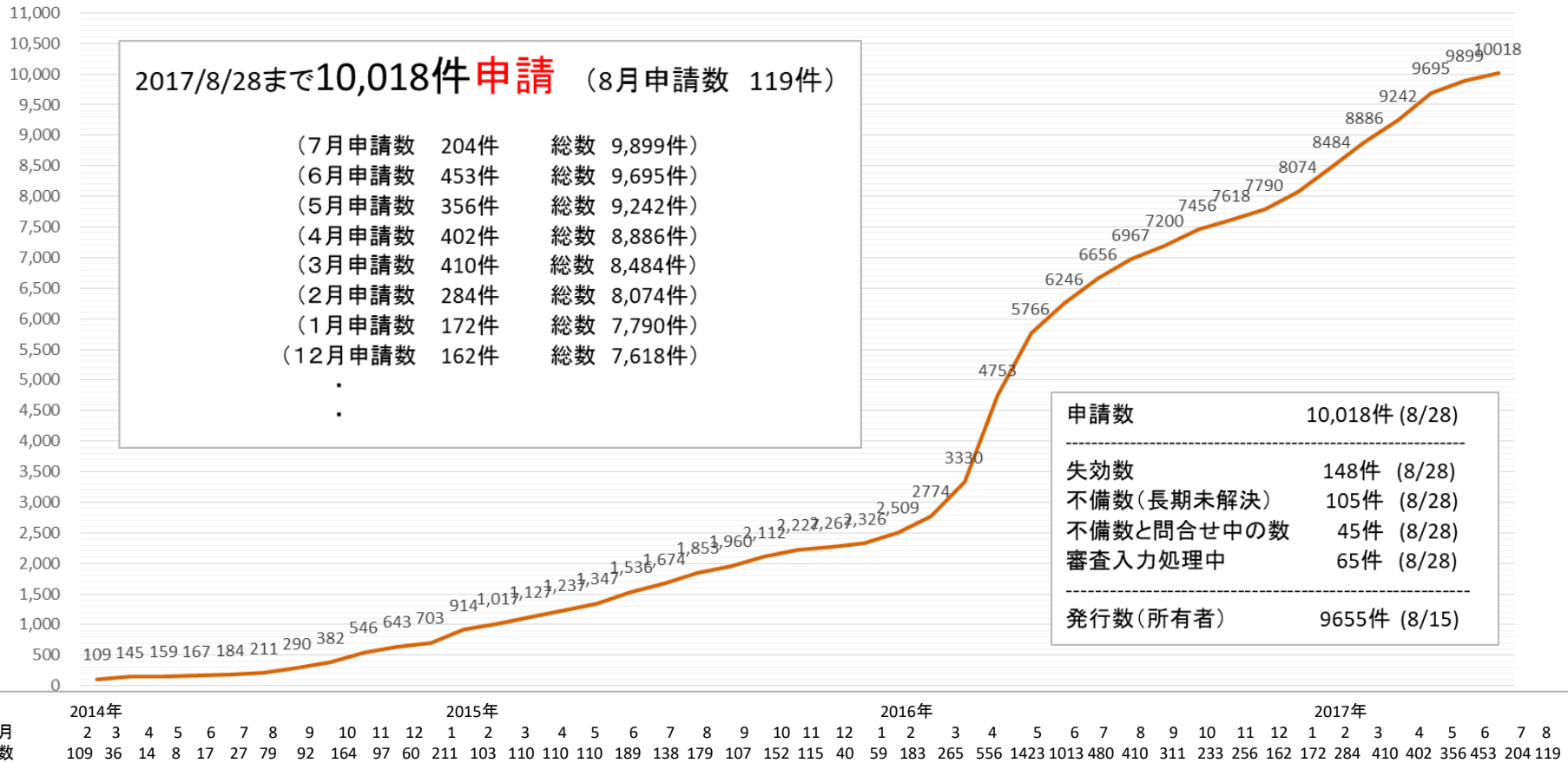
これまでの日医認証局の取り組みである、IT世界での「署名」と「認証（通行証）」を引き続き普及・啓発する。



医師資格証の現状

医師資格証 申請数 2017/8/28現在の集計

(枚) 医師資格証申請数の推移(会員+非会員) 合計



(発行済)失効数理由:年間利用料未払い、転勤で不要、実証実験終了、名前表記相違、死亡、紛失再申請なし、理由不明
 (未発行)不備数理由:必須書類不足、自署なし、顔写真不備、発行費用入金待ち、日医入会待ち、受取医師会確認中

JAL DOCTOR登録制度	総数	会員	非会員
	629	537	92
	6.5%	5.8%	22.6%

※対応実例:重篤5件 (国際線:4件 国内線:1件)
 軽微5件

日医会員 医師資格証 都道府県別 取得率 発行枚数

【発行内訳表】 2017/8/15現在

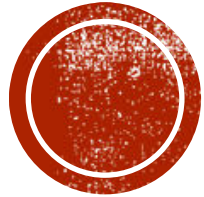
都道府県	総数	会員	非会員	都道府県	総数	会員	非会員
北海道	210	196	14	滋賀県	56	54	2
青森県	91	85	6	京都府	77	75	2
岩手県	69	68	1	大阪府	308	302	6
宮城県	128	122	6	兵庫県	1054	1045	9
秋田県	108	107	1	奈良県	47	45	2
山形県	58	58	0	和歌山県	39	39	0
福島県	124	123	1	鳥取県	37	34	3
茨城県	799	694	105	島根県	84	84	0
栃木県	85	83	2	岡山県	68	68	0
群馬県	108	104	4	広島県	172	167	5
埼玉県	141	137	4	山口県	141	139	2
千葉県	221	205	16	徳島県	185	185	0
東京都	742	688	54	香川県	83	81	2
神奈川県	446	437	9	愛媛県	285	284	1
新潟県	96	95	1	高知県	62	60	2
富山県	74	71	3	福岡県	1370	1357	13
石川県	45	43	2	佐賀県	72	70	2
福井県	29	28	1	長崎県	109	108	1
山梨県	36	36	0	熊本県	520	427	93
長野県	117	106	11	大分県	92	91	1
岐阜県	90	89	1	宮崎県	106	105	1
静岡県	219	219	0	鹿児島県	151	151	0
愛知県	286	277	9	沖縄県	133	126	7
三重県	80	79	1	海外	2	1	1
				合計	9,655	9,248	407

【取得率順位表】 2017/8/15現在 日医会員

率順位	都道府県	日医会員	件数	取得率	数順位	率順位	都道府県	日医会員	件数	取得率	数順位
1	茨城県	2,363	694	29.37%	3	25	大分県	2,101	91	4.33%	27
2	福岡県	8,449	1357	16.06%	1	26	岩手県	1,653	68	4.11%	37
3	熊本県	3,030	427	14.09%	6	27	鹿児島県	3,910	151	3.86%	15
4	徳島県	1,507	185	12.28%	13	28	栃木県	2,181	83	3.81%	31
5	兵庫県	8,618	1045	12.13%	2	29	石川県	1,133	43	3.80%	43
6	愛媛県	2,740	284	10.36%	8	30	山形県	1,614	58	3.59%	40
7	島根県	915	84	9.18%	30	31	宮城県	3,395	122	3.59%	20
8	秋田県	1,534	107	6.98%	22	32	東京都	19,171	688	3.59%	4
9	山口県	2,053	139	6.77%	16	33	山梨県	1,028	36	3.50%	45
10	青森県	1,296	85	6.56%	29	34	三重県	2,345	79	3.37%	33
11	富山県	1,116	71	6.36%	35	35	北海道	5,895	196	3.32%	12
12	沖縄県	2,021	126	6.23%	18	36	長崎県	3,254	108	3.32%	21
13	宮崎県	1,759	105	5.97%	24	37	岐阜県	2,699	89	3.30%	28
14	静岡県	4,093	219	5.35%	10	38	広島県	5,498	167	3.04%	14
15	千葉県	3,892	205	5.27%	11	39	愛知県	9,269	277	2.99%	9
16	神奈川県	8,586	437	5.09%	5	40	新潟県	3,261	95	2.91%	26
17	群馬県	2,052	104	5.07%	25	41	福井県	1,002	28	2.79%	47
18	佐賀県	1,429	70	4.90%	36	42	岡山県	2,517	68	2.70%	38
19	長野県	2,168	106	4.89%	23	43	和歌山県	1,520	39	2.57%	44
20	鳥取県	701	34	4.85%	46	44	京都府	3,045	75	2.46%	34
21	福島県	2,578	123	4.77%	19	45	奈良県	1,865	45	2.41%	42
22	高知県	1,325	60	4.53%	39	46	埼玉県	6,649	137	2.06%	17
23	香川県	1,809	81	4.48%	32	47	大阪府	16,264	302	1.86%	7
24	滋賀県	1,230	54	4.39%	41	48	海外	0	1		
							合計	168,533	9,248	5.5%	

は、日医会員の取得率上位10県
 は、日医会員の取得率下位10府県

※ 日本医師会会員数は平成28年12月1日現在の調査より引用。



身分証としての活用

JAL DOCTOR 登録制度の開始

The screenshot shows the JAL website's navigation menu with 'JALマイレージバンク' highlighted. The main banner features a doctor's silhouette and a JAL airplane, with the text 'JAL DOCTOR 登録制度' and a brief explanation of the service. The Japanese Medical Association logo is also present.

Japan 日本語

お体の不自由なお客さまへ | お問い合わせ | よくあるご質問

国内線 ▾ 国際線 ▾ 国内ツアー ▾ 海外ツアー ▾ **JALマイレージバンク ▾** JALカード ▾

▶ JALマイレージバンク ▶ JAL DOCTOR登録制度

日本医師会
Japan Medical Association

JAL DOCTOR 登録制度

機内で急病人の方への医療援助が必要となった場合、事前に「JAL DOCTOR 登録制度」へご登録いただいた医師の方に援助をお願いさせていただきます。

JAL DOCTOR 登録制度とは？

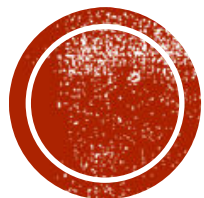
JALグループ便機内で急病人や怪我人が発生し、医療援助が必要となった場合、登録いただいた医師の方へ客室乗務員が直接お声掛けをさせていただく、国内航空会社では初めての取り組みとなります。

ご登録時に医師情報が登録されますので、JALグループ便ご予約の際にお得意様番号を登録いただくことで、緊急医療が必要な事態が発生した場合、客室乗務員が医師の方に速やかに援助をお願いさせていただくことが可能となります。

※ 酔病や体調不自由など、対応が困難な場合は、その旨を客室乗務員へお伝えくだされば、ご対応いただくことも可能です。

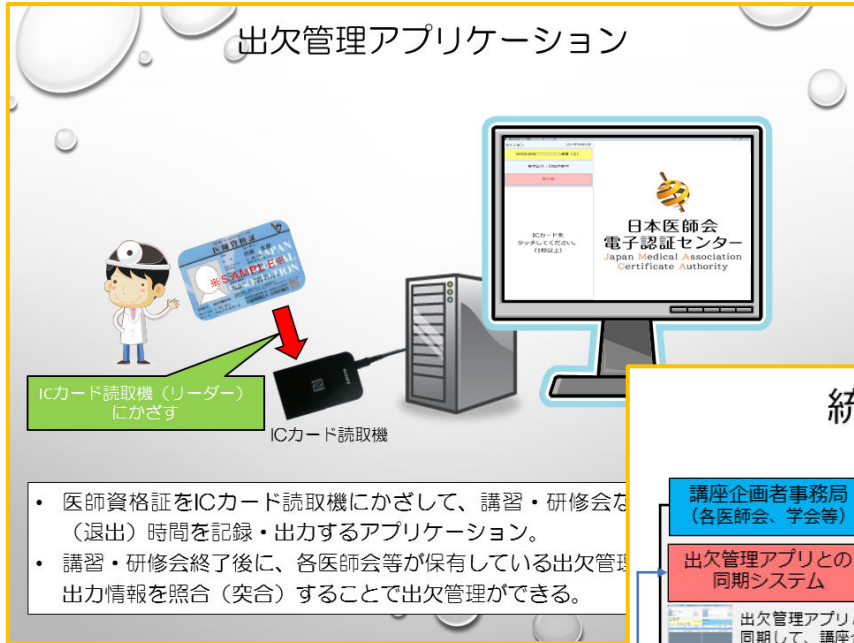
2016年2月3日より登録を開始し、2月15日より運用を開始。



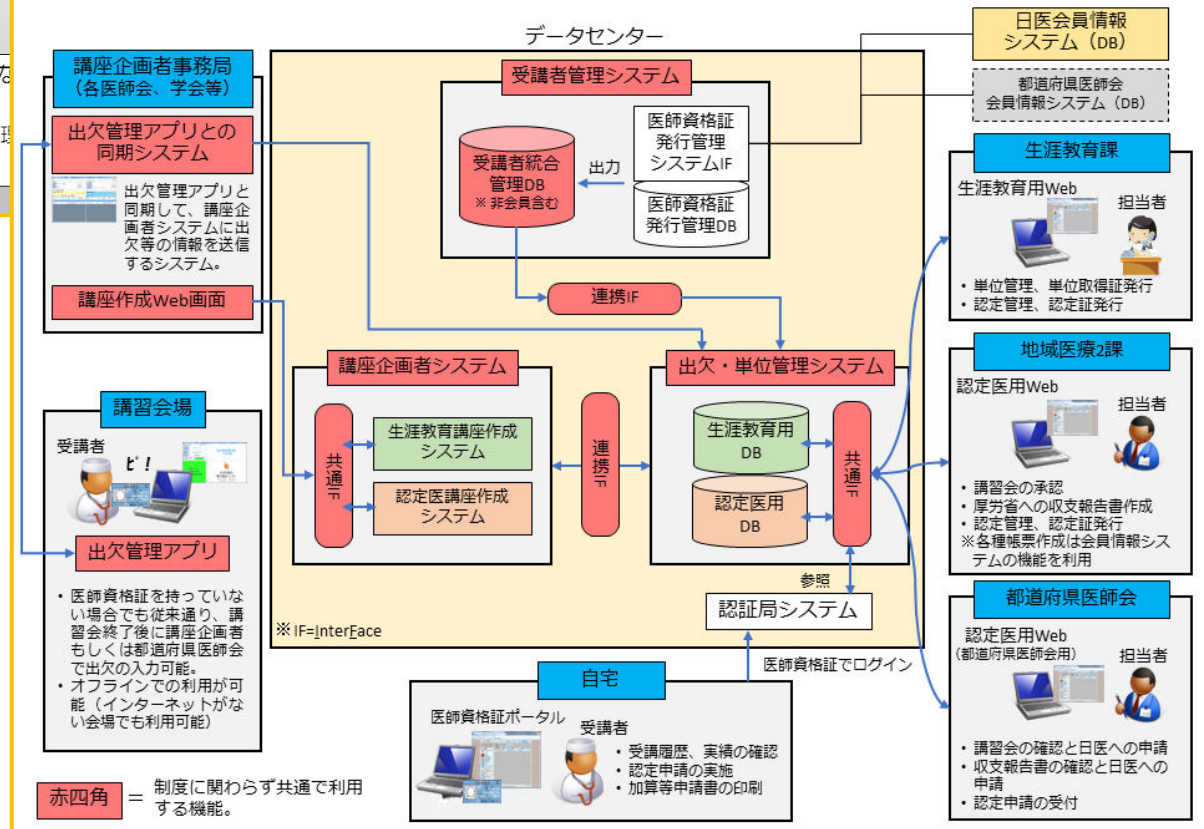


非接触カードとしての活用

統合出欠単位管理システムへの発展



統合的な出欠単位管理システムのイメージ図



研修管理システムメイン画面

https://www.planning.med.or.jp/LifeEduMng/Common/setUserInfo.html

日本医師会 全国医師会研... ×

日本医師会
全国医師会研修管理システム

氏名：電子認証センター テスト
前回ログイン：2016/12/08(木) 12:15

ユーザ情報 ログアウト

生涯教育制度

講習会管理入力 日医 生涯教育課用WEB 生涯教育用マスタメンテ

認定産業医制度

研修会管理入力 日医 地域医療第2課用WEB 認定産業医用マスタメンテ

認定健康スポーツ医制度

研修会(講習会)入力 日医 地域医療第2課用WEB 認定健康スポーツ医用マスタメンテ

かかりつけ医機能研修制度

研修会管理入力 日医 介護保険課用WEB かかりつけ医機能研修制度用マスタメンテ

100%



講習会管理画面

- 講習会管理
- 単位取得状況検索
- 全国講習会検索
- 日医非会員の管理

検索条件非表示

検索条件

所属都道府県	日医
主催	日医電子認証センター
開催都道府県	
開催日	2016/12/08 ~ 2017/03/07
講習会名	
CC	
日医生涯教育制度 状態区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一時保存中 <input checked="" type="checkbox"/> 承認待ち <input checked="" type="checkbox"/> 差戻し <input checked="" type="checkbox"/> 承認・登録済
作業用講習会	<input type="checkbox"/> 承認作業が必要な講習会を含む <input type="checkbox"/> 代行入力した講習会を含む
中止表示	<input type="checkbox"/> 中止講習会の表示

検索

クリア

講習会一覧

承認・登録済、一時保存（未申請）
承認待ち
差戻し
中止

新規	変更	中止	受講 予定者入力	講習会 CSV入力	受講 実績入力	印刷表示	<<	<	1/1 ページ	>	>>
主催	開催日時	講習会名	CC（単位）	日医生涯教育制度		受講 予定 数	出席 実績 数				
				申請日	承認者・承認日・承認区分						

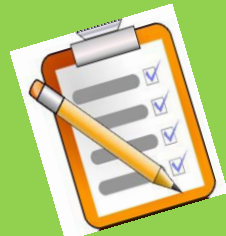
該当項目がありません。



講習会前の準備と会場での使い方

講習会場

出欠管理と単位同期プログラムをインストールしたPC



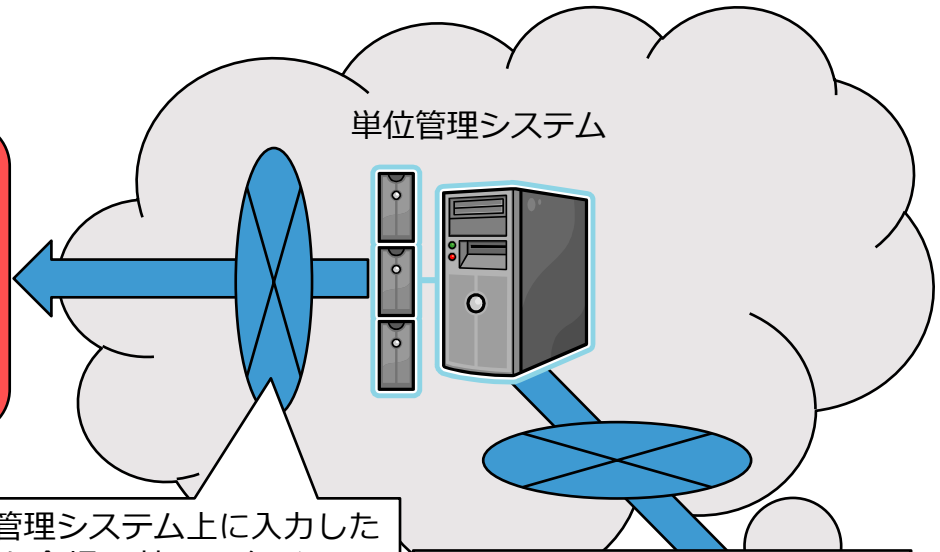
受付端末

出席者リストのチェック
または
医師資格証の読み取り

ネットワーク不要

単位管理システム上に入力した情報を会場に持って行くコンピューターとネットワークを使って同期しておく。

単位管理システム



単位管理入力画面



単位等管理

医師会等の事務局

- 出欠管理アプリケーションと単位同期プログラムをインストールしたPCを準備。
- 単位管理システムで入力した情報を会場に持ち込むPCに同期しておく。
- 医師資格証を使う場合は、ICカードリーダーにかざしてもらう。
- 使わない場合は、これまで通り紙の出席者リスト等でアナログ的にチェック。その場合、PCも不要。
- なお、受付端末上でチェックするだけでも出欠管理が可能にする予定。

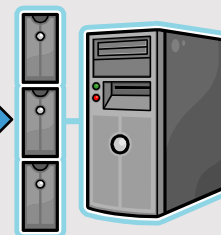
講習会が終わったら

医師会等の事務局

出欠管理と単位同期プログラムをインストールしたPC



単位管理システム



ネットワークを通じて、会場に設置したPCと単位管理システムの情報を同期する。

- 講習会終了後、インターネットのある環境で、会場のPCと単位管理システムとの間で出欠情報の同期を実施する。



受講実績の入力（確認）

受講実績入力



開催日時	講習会名	主催者	カリキュラム コード（単位）
2015/11/25(水) 10:00~15:00	第144回 日本医学会シンポジウム	〇〇市医師会	4 (0.5単位) 7 (0.5単位) 8 (0.5単位) 19 (0.5単位) 30 (0.5単位) 36 (0.5単位) 43 (0.5単位) 62 (0.5単位) 合計：4.0単位

新規

変更

削除

CSV入力

受講時間
一括入力

受講時間
変更



ページ：1/1



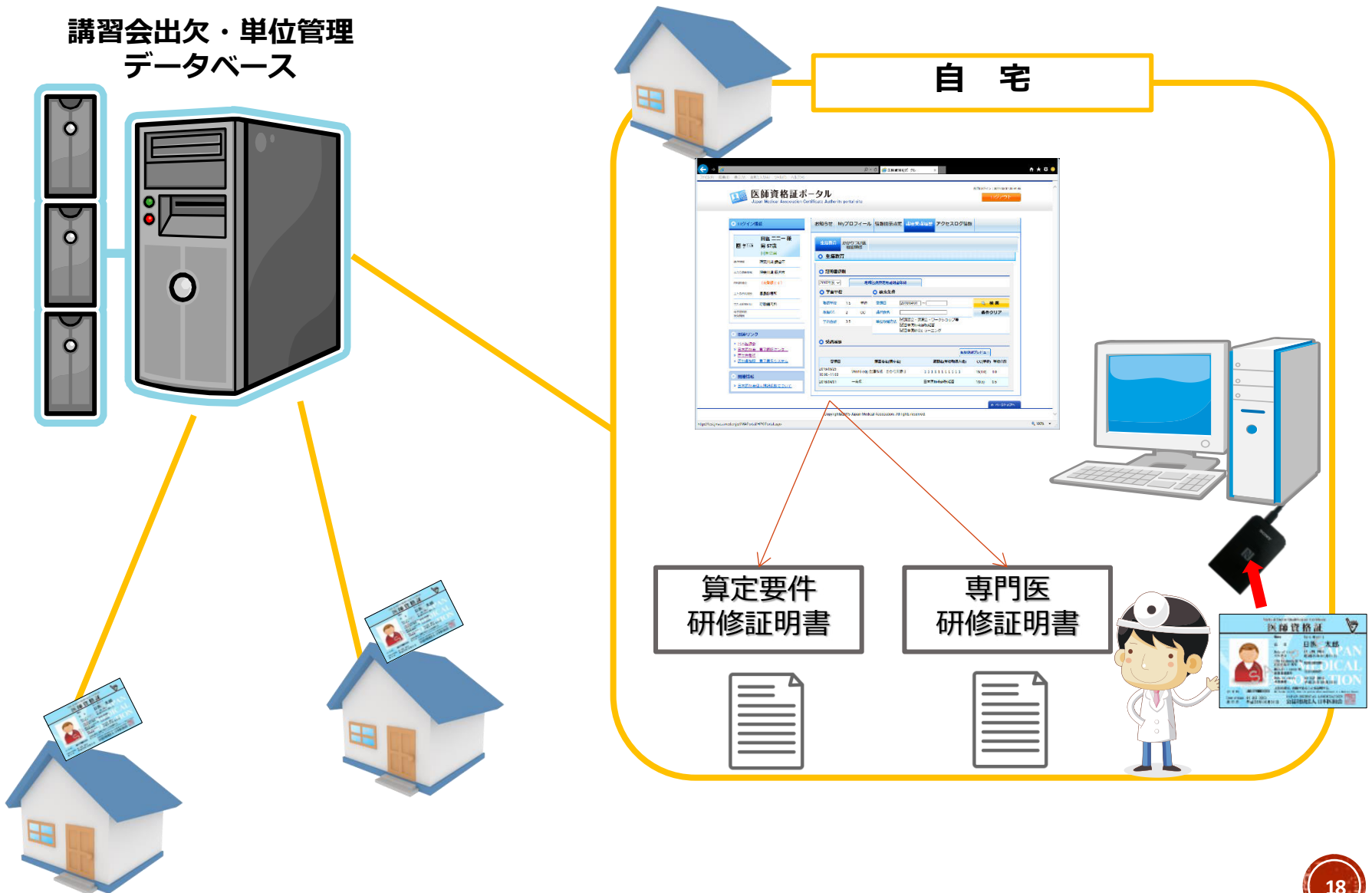
<input type="checkbox"/>	医籍登録番号	氏名（漢字）	氏名（カナ）	所属	都道府県 医師会	郡市区 医師会	受講時間
<input type="checkbox"/>	9999999999	医師 太郎	イシ タロウ		神奈川県	鎌倉市	09:54~15:03
<input type="checkbox"/>	0000000001	医師 一郎	イシ イチロウ		神奈川県	鎌倉市	09:59~15:11
<input type="checkbox"/>	0000000002	医師 二郎	イシ ジロウ		神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
<input type="checkbox"/>	0000000003	医師 三郎	イシ サブロウ	〇〇病院	神奈川県	鎌倉市	
<input type="checkbox"/>	0000000004	医師 四郎	イシ シロウ	△△病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~14:00
<input type="checkbox"/>	0000000005	医師 五郎	イシ ゴロウ	△△病院	神奈川県	鎌倉市	
<input type="checkbox"/>	0000000006	医師 六郎	イシ ロクロウ	××病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
<input type="checkbox"/>	0000000007	医師 七郎	イシ シチロウ	〇〇病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~15:00
<input type="checkbox"/>	0000000008	医師 八郎	イシ ハチロウ	〇〇病院	神奈川県	鎌倉市	
<input type="checkbox"/>	0000000009	医師 九郎	イシ クロウ	××病院	神奈川県	鎌倉市	10:00~14:00

10件中 1-10件

閉じる



医師資格証で受講履歴のリアルタイム確認が可能



医師資格証ポータルでの受講履歴確認

The screenshot shows a web browser window displaying the "医師資格証ポータル" (Japan Medical Association Certificate Authority portal site). The browser's address bar shows the URL "医師資格証ポータル". The page header includes the site logo, the text "医師資格証ポータル Japan Medical Association Certificate Authority portal site", and a "ログアウト" (Logout) button. The user's previous login time is "前回ログイン: 2017/07/10 11:50:59".

The main content area is divided into several sections:

- ログイン情報** (Login Information):
 - 券面画 (Certificate Photo): 日医 ニニー 様 (Mr. Nii Nii), 男 57歳 (Male, 57 years old), 日医会員 (JMA Member)
 - 居住地域 (Residence): 神奈川県 鎌倉市 (Kanagawa Prefecture, Kamakura City)
 - 主たる活動地域 (Main Activity Area): 神奈川県 藤沢市 (Kanagawa Prefecture, Fujisawa City)
 - 所属医師会 (Affiliated Medical Association): (未登録です) (Not registered)
 - 主たる所属施設 (Main Affiliated Facility): 長島診療所 (Nagashima Clinic)
 - 主たる診療科目 (Main Medical Specialty): 呼吸器内科 (Respiratory Medicine)
 - 電子証明書有効期間 (Electronic Certificate Validity Period): (Not specified)
- お知らせ** (Notice):
 - 現在表示期間中のお知らせはありません。 (There are no notices currently displayed.)
 - バックナンバー (Back Number)
- 関連リンク** (Related Links):
 - 日本医師会 (Japan Medical Association)
 - 日本医師会 電子認証センター (Japan Medical Association Electronic Authentication Center)
 - 厚生労働省 (Ministry of Health, Labour and Welfare)
 - 医師資格証 電子署名システム (JMA Certificate Electronic Signature System)
- 関連情報** (Related Information):
 - 日本医師会個人情報保護について (About JMA Personal Information Protection)

The navigation menu at the top of the main content area includes: お知らせ (Notice), Myプロフィール (My Profile), 情報開示設定 (Information Disclosure Settings), and 講座受講履歴 (Lecture Attendance History). The "講座受講履歴" item is highlighted with a red box.

At the bottom of the page, there is a "ページトップへ" (Back to Top) button and a copyright notice: "Copyright©2015 Japan Medical Association. All rights reserved." The browser's status bar shows "100%" zoom.



医師資格証ポータルサイトの受講履歴表示機能

The screenshot shows a web browser window displaying the 'Japan Medical Association Certificate Authority portal site'. The user is logged in as '日医 二二一様' (Male, 57 years old, Member of the Japanese Medical Association). The page is divided into several sections:

- ログイン情報 (Login Information):** Displays user details such as name, age, gender, and membership status.
- お知らせ (Notice):** A navigation menu with options like 'Myプロフィール', '情報開示設定', and '講座受講履歴'.
- 生涯教育 (Life Education):** A section for managing education records, including a search filter for '2017年度' and buttons for '受講証明書出力' and '専門医共通受講証明書出力'.
- 学習単位 (Learning Units):** A table showing the user's learning units and search criteria.
- 受講履歴 (Lecture History):** A table listing the user's lecture history, which is highlighted with a red border in the image.

The '受講履歴' table contains the following data:

受講日	講習会名(講座名)	演題名(単位取得方法)	CC(単位)	単位合計
2017/05/20 11:00~12:00	かかりつけ医テスト 専門医あり	テスト演題2	8(1.0)	1.0
2017/05/20 10:00~11:00	かかりつけ医テスト 専門医あり	テスト演題1		0.0

ただし、講習会管理システムで受講実績の入力および確定された履歴のみ表示

医師資格証ポータルサイトの受講証明印刷機能

医師資格証ポータル
Japan Medical Association Certificate Authority portal site

前回ログイン: 2017/07/10 11:50:59
ログアウト

お知らせ Myプロフィール 情報開示設定 **講座受講履歴**

生涯教育

生涯教育

証明書印刷

2017年度 受講証明書出力 専門医共通受講証明書出力

学習単位 検索条件

取得単位	1.0	単位	受講日	2016/04/01 ~	検索
取得CC	1	CC	講習会名		条件クリア
学習合計	2.0		単位取得方法	<input checked="" type="checkbox"/> 講習会・講演会・ワークショップ等	

受講履歴

履歴印刷プレビュー

受講日	講習会名(講座名)	演題名(単位取得方法)	CC(単位)	単位合計
2017/05/20 11:00~12:00	かかりつけ医テスト 専門医あり	テスト演題2	8(1.0)	1.0
2017/05/20 10:00~11:00	かかりつけ医テスト 専門医あり	テスト演題1		0.0

↑ ページトップへ

Copyright©2015 Japan Medical Association. All rights reserved.

100%



受講証明書

受講証明書201707121405.pdf - Adobe Acrobat Pro DC

ファイル 編集 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール 受講証明書20170... x

矢野一博さん

2017/07/12

日医 二二一 殿

公益社団法人 日本医師会 会長 横倉 義武

受講証明書

下記内容を受講したことを証明いたします。

開催年月日時	曜日	開催場所	主催者及び会の名称	演題	講師	取得単位	取得カリキュラムコード
2017/05/20 11:00 - 12:00	土	日医会館	東京都医師会 かかりつけ医テスト 専門医あり	テスト演題2	鎌倉大船病院 鎌倉 次郎	1	8.
取得単位合計/取得カリキュラム合計						1	1

1 / 1

地域包括加算の届出に利用可能。

ただし、講習会管理システムで受講実績の入力および確定された講座のみ印刷



専門医共通受講証明書

専門医共通受講証明書201707121405.pdf - Adobe Acrobat Pro DC


ファイル 編集 表示(V) ウィンドウ(W) ヘルプ(H)

ホーム ツール 専門医共通受講... × 矢野一博さん

2017/07/12

日医 二二一 殿

公益社団法人 日本医師会 会長 横倉 義武



専門医共通受講証明書

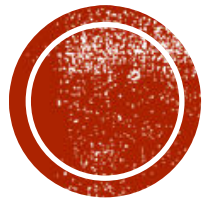
下記内容を受講したことを証明いたします。

開催年月日時	曜日	開催場所	主催者及び会の名称	演題	講師	取得単位	取得カリキュラムコード
2017/05/20 11:00 - 12:00	土	日医会館	東京都医師会 かかりつけ医テスト 専門医あり	テスト演題2	鎌倉大船病院 鎌倉 次郎	1	8.
取得単位合計 / 取得カリキュラム合計						1	1

1 / 1

ただし、講習会管理システムで受講実績の入力および確定された講座のみ印刷





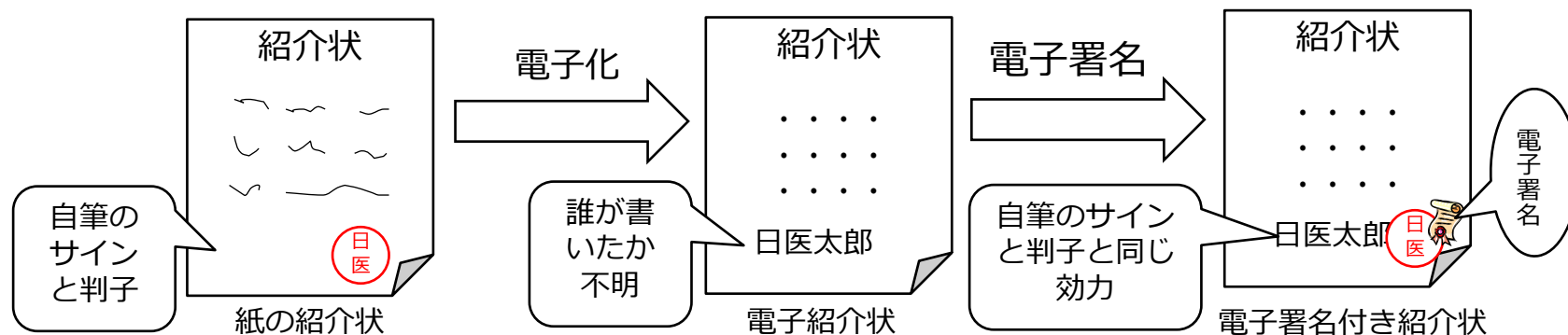
ITでの活用



電子署名と認証

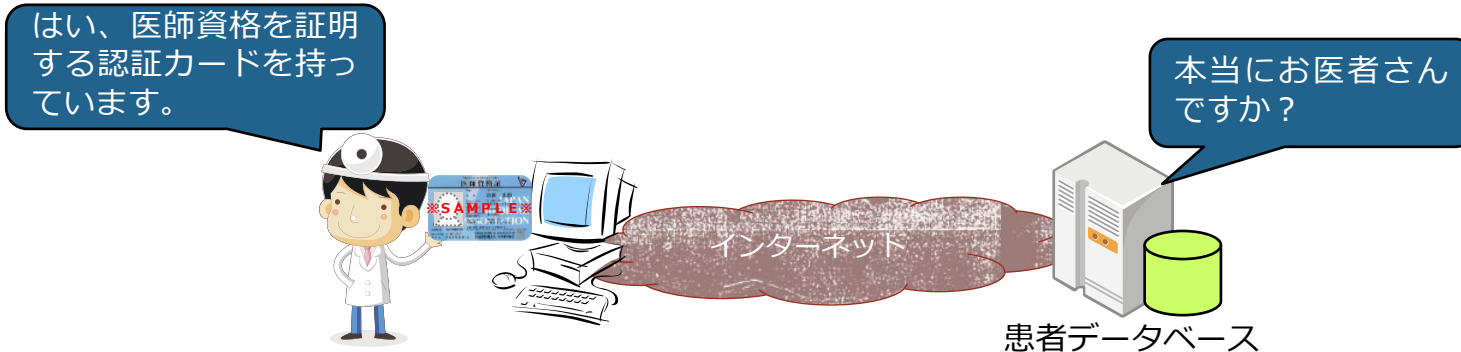
1. 電子署名

コンピューターで紹介状、診断書、主治医意見書、処方箋など、医師の署名・捺印の必要な文書を作成した場合に利用。電子署名することで、紙に印刷して署名・捺印しなくてもよくなります。電子的な署名の効力は、電子署名法で保証されています。



2. 認証

例えば、地域医療連携では、ネットワークを通じて本人の確認が必要になります。特に、カルテや連携パスの情報を閲覧する場合は、医師であることの確認が必要であり、その時に認証を使います。



島根県まめネット

電子紹介状への電子署名で利用

すべては患者さんの安心・安全のために。

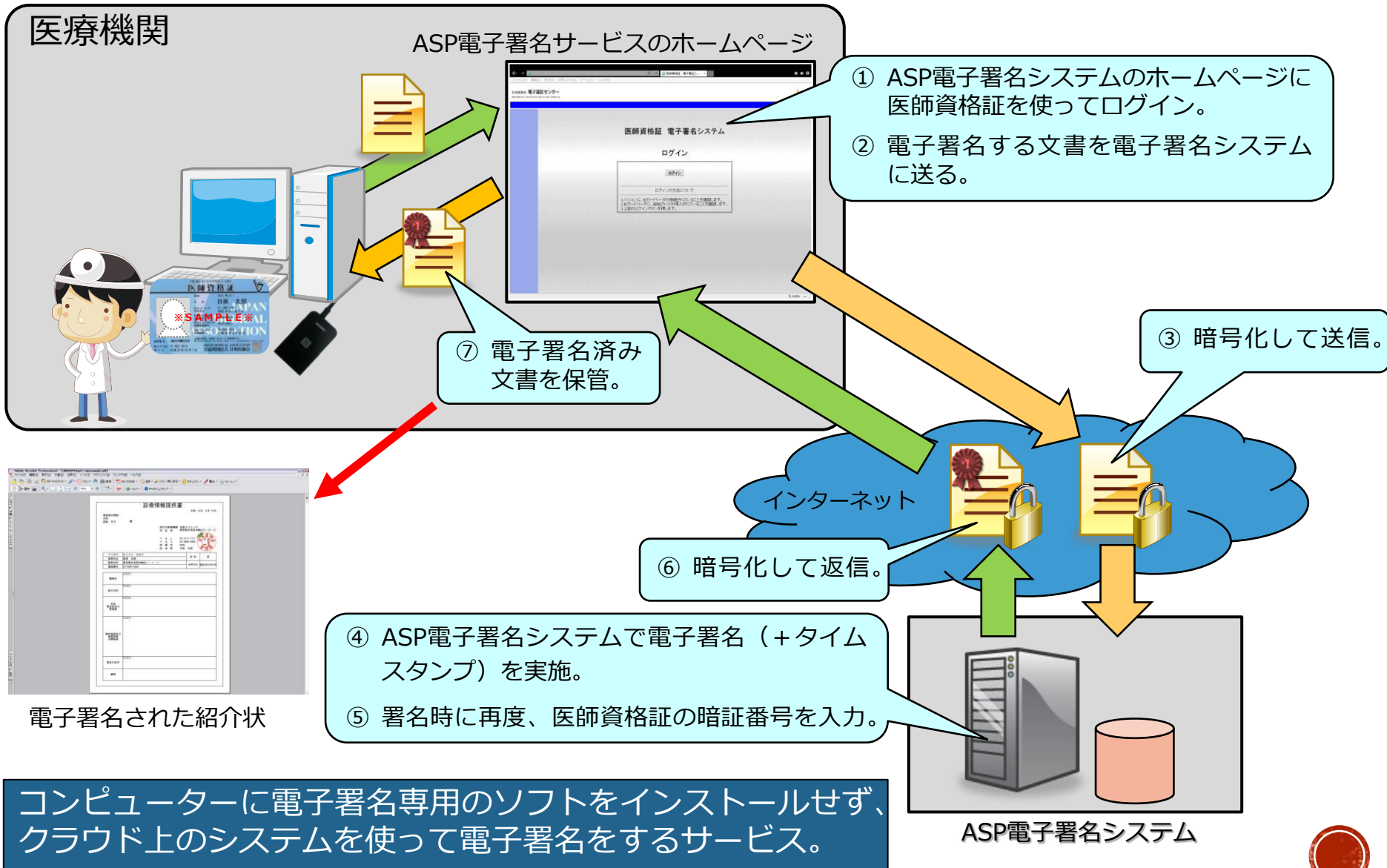
島根県内の中核病院をはじめとして、各地の病院や診療所、調剤薬局などの医療機関がつながります。



ASP電子署名サービス

医療機関

ASP電子署名サービスのホームページ



医師資格証ポータル

医師資格証ポータル
Japan Medical Association Certificate Authority portal site

医師資格証ポータル
Japan Medical Association Certificate Authority portal site

ログイン

ログイン方法について

1. パソコンに、ICカードリーダーが接続されていることを確認します。
2. ICカードリーダーに、医師資格証が挿入されていることを確認します。
3. 上記のログインボタンを押します。

Copyrighte Japan Medical Association. All rights reserved.

100%



医師資格証ポータル（続き）

The screenshot shows the homepage of the Japan Medical Association Certificate Authority portal. The page features a navigation menu with 'ログイン情報', 'お知らせ', 'Myプロフィール', and '情報開示設定'. The 'お知らせ' (Notice) section is active, displaying a message about the portal's opening. The 'ログイン情報' (Login Information) section shows the user's profile: 日医 太郎 様 (Mr. Taro Hiyama), 41 years old, a Japanese Medical Association member, residing in Tokyo. The '関連リンク' (Related Links) section includes links to the Japanese Medical Association, Electronic Certificate Center, and other services.

トップ画面

情報開示・非開示画面

The screenshot shows the '情報開示設定' (Information Disclosure Settings) page. The '基本項目' (Basic Items) table is visible, showing the disclosure status for various fields. The 'プロフィール' (Profile) section is also partially visible.

情報項目	利用者向け	開示設定	一括向け
氏名	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
性別	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
生年月日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
年齢	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
医師登録番号	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
医師登録年月日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
日医会員ID	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
住所 (申請時)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
メールアドレス (申請時)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>

Buttons:

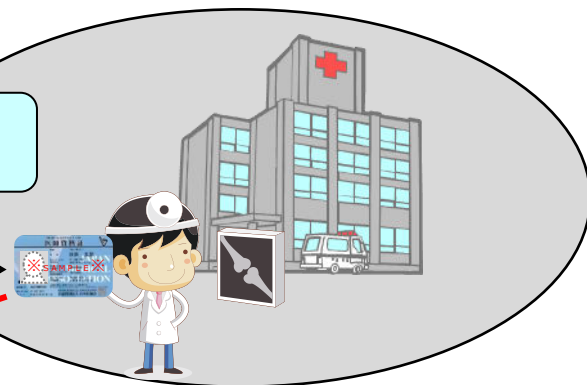
日医医療認証基盤（シングル・サインオン機能）システム

日本医師会の所有システム

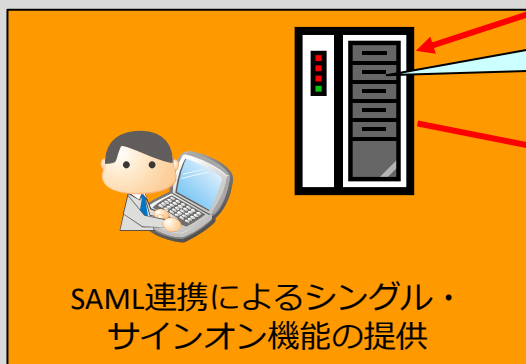
電子認証センター（日医認証局）



医師資格証の発行

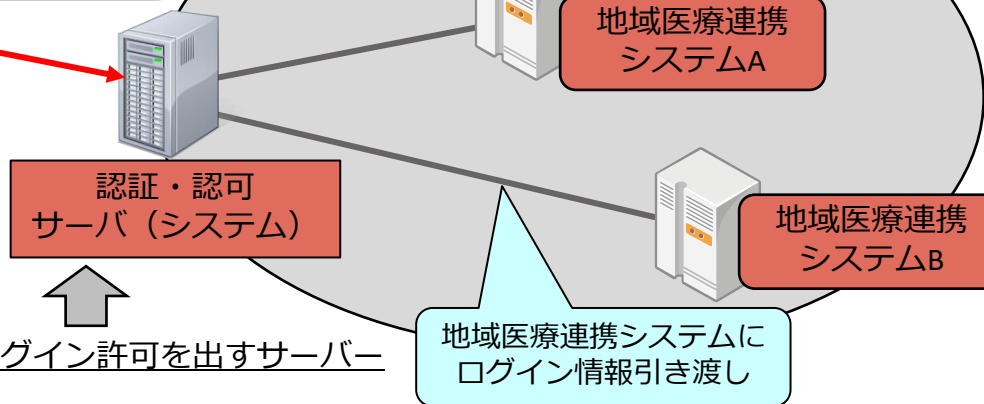


日医医療認証基盤システム



ログイン時に医師資格
確認・認証情報提供

地域医療連携システム



医師資格を確認してログイン許可を出すサーバー

医療認証基盤システムとは、医療連携を実施するそれぞれの地域の入口の手前にあるシステムに対して、医師であることの情報を提供する標準化されたシステム。



岡山県晴れやかネット

晴れやかネット 

メールアドレスまたはニックネーム

パスワード

ログイン

HPKログイン

パスワードを忘れた方はこちら

ここをクリックすると、暗証番号
入力画面が出てきます。



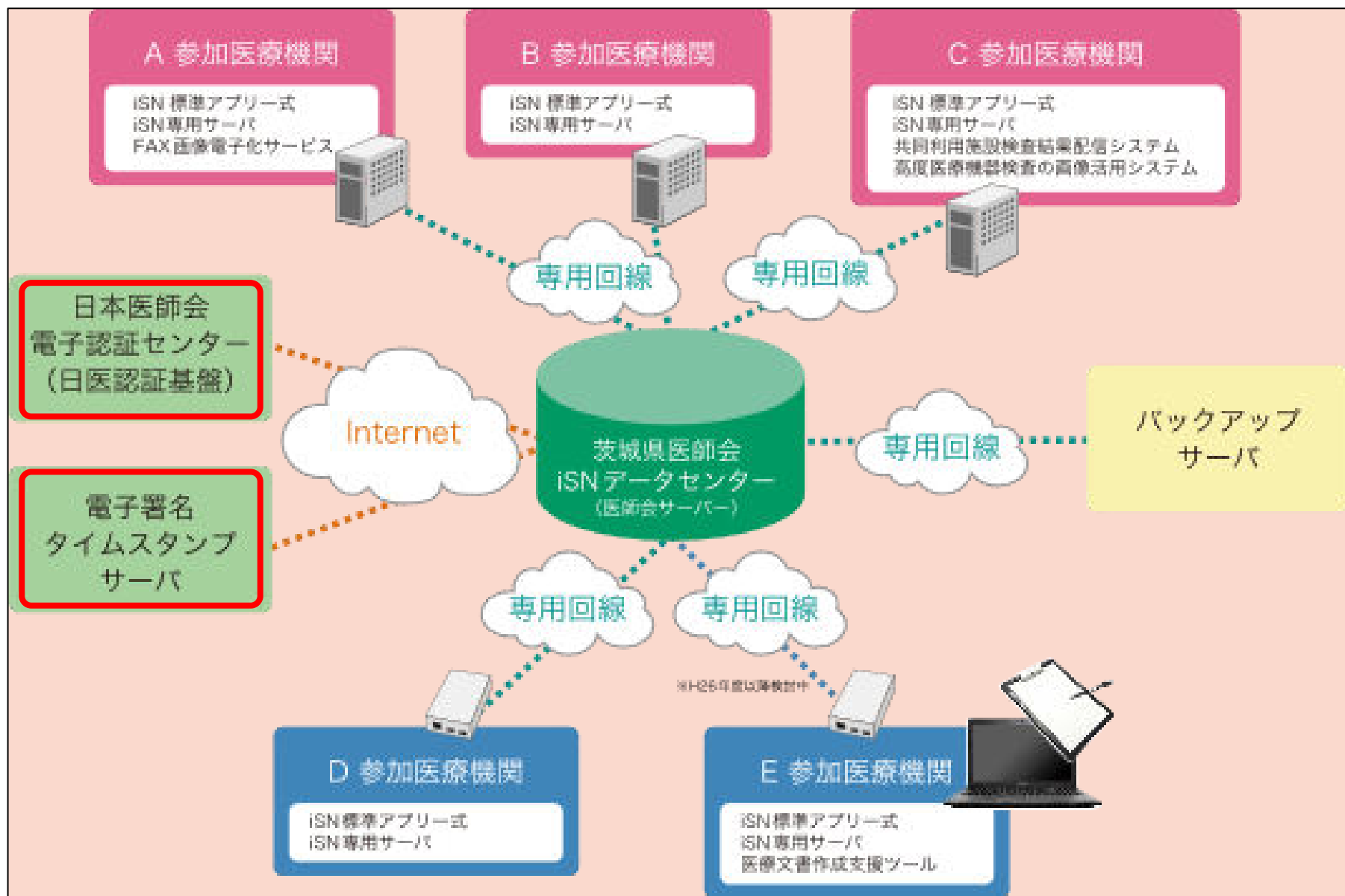
医療ネットワーク岡山協議会

PIN入力

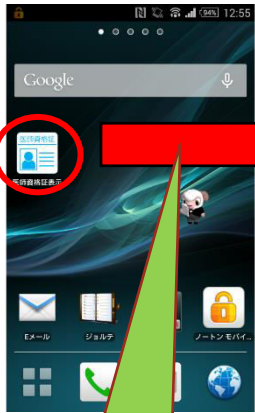
PINを入力してください。(P)

OK(O) キャンセル(C)

茨城県医師会いばらき安心ネット (iSN)



スマートフォンを用いた資格確認



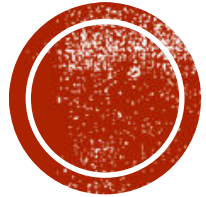
資格表示アプリケーション起動



医師資格証をスマートフォンにかざす



医師資格証をスマートフォンにかざすことで、医師資格証の発行情報を元にした「基本情報」と利用者個人で編集できる「プロフィール」を表示するアプリケーション。



今後の展望



診療報酬改定

【Ⅱ-2（患者の視点等／ICTの活用）-①】

診療情報提供書等の電子的な送受に関する評価

骨子【Ⅱ-2(1)】

第1 基本的な考え方

現在、署名又は記名・押印が求められている診療情報提供書、訪問看護指示書及び服薬情報等提供文書等について、電子的に署名を行い、安全性を確保した上で電子的に送受した場合にも算定可能とする。

診療情報提供書への検査結果・画像情報等の添付について、電子的に送受・共有する場合についても評価する。

第2 具体的な内容

1. 医科診療報酬点数表に記載する診療等に要する文書、訪問看護管理療養費の算定に係る文書及び服薬情報等提供料の算定に係る文書の電子化

〔算定要件〕

(1) 電子的方法によって、個々の患者の診療に関する情報等を他の保険医療機関等に提供する場合は、厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」（平成25年10月）を遵守し、安全な通信環境を確保する。

(2) 署名又は記名・押印を要する文書については、電子的な署名を含む。その場合、厚生労働省の定める準拠性監査基準を満たす保健医療福祉分野の公開鍵基盤（HPKI：Healthcare Public Key Infrastructure）による電子署名を施すこと。

2. 診療情報提供料（Ⅰ） 検査・画像情報提供加算の新設

(新) 検査・画像情報提供加算

イ 退院する患者について、当該患者の退院日の属する月又はその翌月に、必要な情報を提供した場合 200点

ロ 入院中の患者以外の患者について、必要な情報を提供した場合 30点

〔算定要件〕

保険医療機関が、患者の紹介を行う際に、過去の主要な診療記録を、他の保険医療機関に電子的方法で閲覧可能なように提供した場合に加算する。ただし、イについては、注7に規定する加算を算定する場合は算定しない。

3. 電子的診療情報評価料の新設

(新) 電子的診療情報評価料 30点

〔算定要件〕

保険医療機関が、別の保険医療機関から診療情報提供書の提供を受けた患者について、過去の主要な診療記録を電子的方法により閲覧でき、当該診療記録を診療に活用した場合に算定する。

〔2及び3に係る施設基準〕

(1) 他の保険医療機関等と連携し、患者の医療情報に関する電子的な送受信が可能なネットワークを構築していること。

(2) 別の保険医療機関と標準的な方法により安全に情報の共有を行う体制が具備されていること。

平成28年2月10日 第328回中医協総会資料から抜粋

- 診療報酬上、電子紹介状の算定ができることが明確化。その際の要件として、HPKI電子署名（+タイムスタンプ）を施すこととされた。医師資格証を用いれば、HPKI電子署名が可能となる。
- 加えて、画像等を提供すること、また、その画像等を用いて診療に活用した場合の加算が新設された。

施設基準等

- 診療情報提供書を電子的に提供する場合は、HPKIによる電子署名を施すこと。
- 患者の医療情報に関する電子的な送受信又は閲覧が可能なネットワークを構築すること。
- 厚生労働省「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」（平成25年10月）を遵守し、安全な通信環境を確保すること。
- 保険医療機関において、個人単位の情報の閲覧権限の管理など、個人情報保護を確実に実施すること。
- 厚生労働省標準規格に基づく標準化されたストレージ機能を有する情報蓄積環境を確保すること。
- 情報の電子的な送受に関する記録を残していること。（ネットワーク運営事務管理している場合は、随時取り寄せることができること。）
 - 情報提供側：提供した情報の範囲及び日時を記録。
 - 情報受領側：閲覧情報及び閲覧者名を含むアクセスログを1年間記録。

診療情報提供書等の電子的な送受に関する評価

算定要件
(施設基準)

医療情報システムの安全管理に関するガイドライン(平成25年10月)を遵守。

地域医療連携システム

算定要件
(HPKI電子署名:
医師資格証)

検査・画像情報提供加算
(イ)
200点

電子的診療情報
評価料
30点

退院

入院中の患者以外

検査・画像情報提供加算
(ロ)
30点

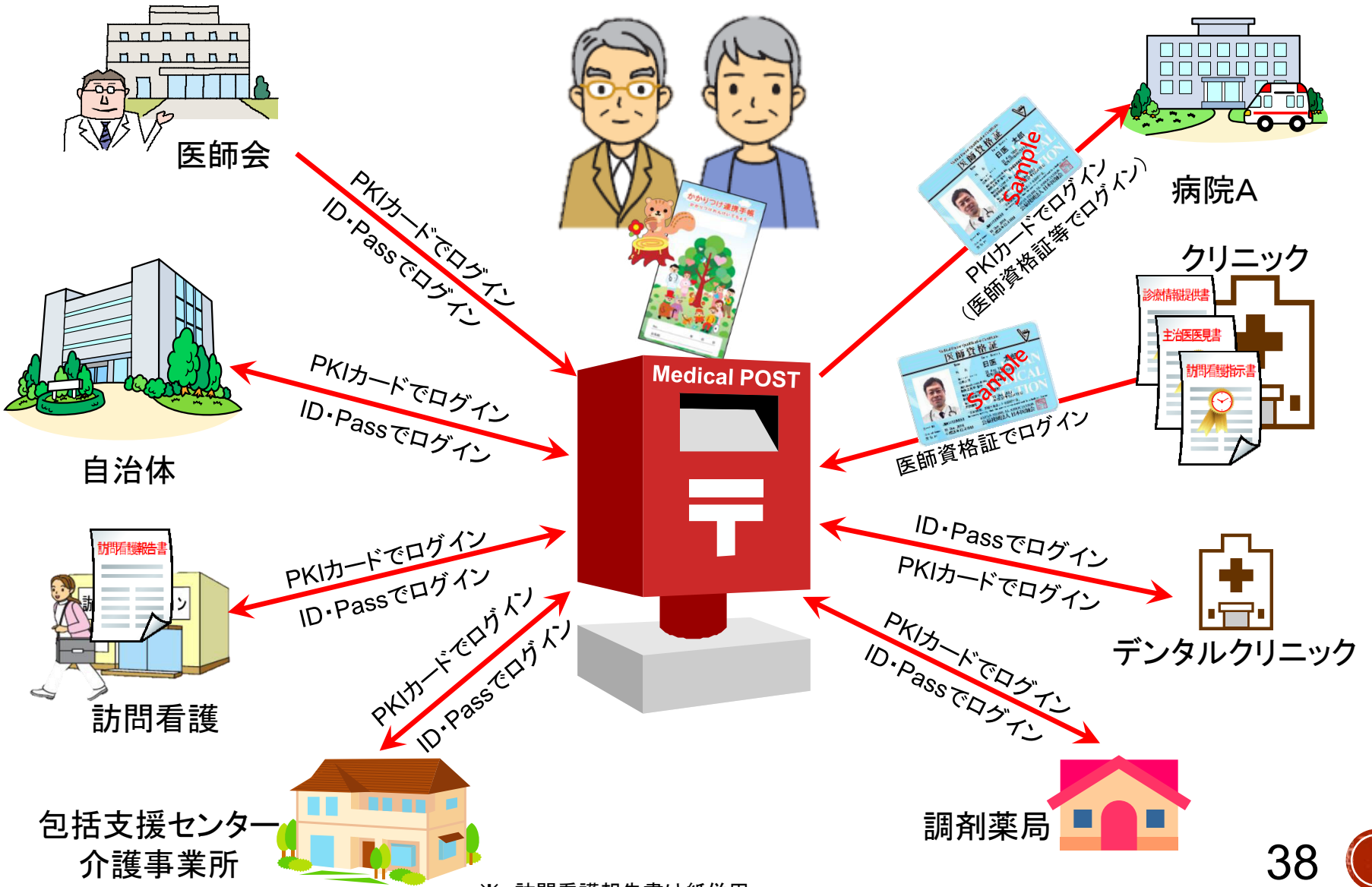
電子的診療情報
評価料
30点

診療情報提供書等

算定要件
(HPKI電子署名:医師資格証)

厚生労働省の定める準拠性監査基準を満たす保険医療福祉分野の公開鍵基盤(HPKI:Healthcare Public Key Infrastructure)による電子署名を施すこと。

文書交換システム



※ 訪問看護報告書は紙併用

ログイン画面（医師の場合）



メイン画面

文書交換 サービス

医師 太郎 **NEW** お知らせ 設定 ログアウト

「受信ボックス」一覧

文書交換

送受信ボックス

新規作成

送受信履歴

アドレス帳

送信先設定

受信相手設定 **NEW**

メニュー一覧

受信ボックス

削除

最初へ 前へ 1/1 ページ 次へ 最後へ

<input type="checkbox"/>	ダウンロード	差出人	件名	受信日時	添付ファイル	数	サイズ
<input type="checkbox"/>	未	[医師]医師 太郎 他	紹介状送付	2016/02/02 11:43	紹介状.doc他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	未	[医療機関]〇〇病院...	紹介状送付	2016/02/02 10:15	紹介状.doc他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	済	[医師]医師 三郎	紹介状送付	2016/02/01 22:55	紹介状.doc他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	済	[医療機関]〇〇病院...	紹介状送付	2016/02/01 09:55	紹介状.doc他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	済	[医師]医師 一郎	紹介状送付	2016/01/30 11:15	紹介状.doc他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	済	[医師]医師 花子	紹介状送付	2016/01/28 21:05	紹介状.doc他	12	1.2MB

6件中 1-20件を表示

送信ボックス

削除

最初へ 前へ 1/1 ページ 次へ 最後へ

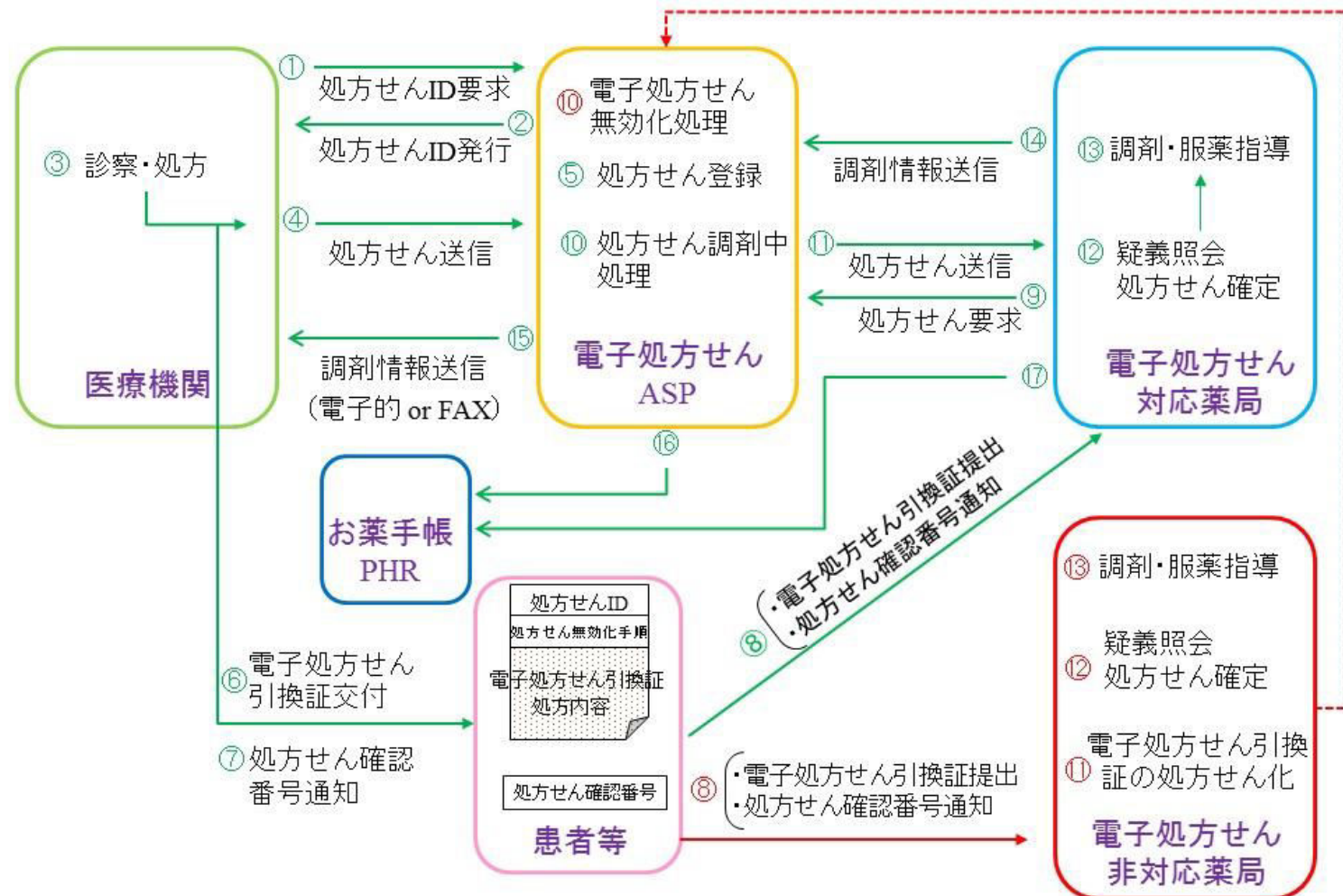
<input type="checkbox"/>	状態	宛先	件名	送信日時	添付ファイル	数	サイズ
<input type="checkbox"/>	一時保存	[医療機関]〇〇病院...	紹介状送付	2016/02/02 12:53	紹介状.doc 他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	送信待機	[自治体]〇〇市役所	主治医意見書送付	2016/02/02 12:15	主治医意見書.doc他	12	1.2MB
<input type="checkbox"/>	送信失敗	[自治体]〇〇市役所	主治医意見書送付	2016/02/02 11:43	主治医意見書.doc他	12	1.2MB

3件中 1-3件を表示

「送信ボックス」一覧

電子処方せん

⑨ 電子処方せん無効化要求



平成28年2月10日「医療ネットワーク基盤検討会」電子処方せんの運用ガイドライン（案）から抜粋

- 平成28年3月に「電子処方せんの運用ガイドライン」が通知され、電子処方せんが実際に運用可能となった。
- ガイドライン内でHPKI電子署名が必須の要件となっている。

電子処方せんの運用ガイドライン通知

医政発 0331 第 31 号
薬生発 0331 第 11 号
保 発 0331 第 27 号
政社発 0331 第 2 号
平成 28 年 3 月 31 日

各
〔 都 道 府 県 知 事 〕
〔 地 方 厚 生 (支) 局 長 〕
殿

厚 生 労 働 省 医 政 局 長
(公 印 省 略)

厚 生 労 働 省 医 薬 ・ 生 活 衛 生 局 長
(公 印 省 略)

厚 生 労 働 省 保 険 局 長
(公 印 省 略)

厚 生 労 働 省 政 策 統 括 官 (社 会 保 障 担 当)
(公 印 省 略)

電子処方せんの運用ガイドラインの策定について

処方せんは、医師・歯科医師から薬剤師への処方内容の伝達だけでなく、患者自らが処方内容を知ることができる、患者にとって最も身近な医療情報の一つである。処方せんの電子化は、医療機関と薬局の連携や服薬管理の効率化等に資するだけでなく、電子版お薬手帳との連携により、患者自身の服薬情報の履歴の電子的な管理にも資する。

このため、今般、「厚生労働省の所管する法令の規定に基づく民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する省令」（平成 17 年厚生労働省令第 44 号）の一部を改正し、処方せんの電磁的記録による作成、交付及び保存を可能とするとともに、電子処方せんの円滑な運用や地域医療連携の取組を進め、できるだけ早く国民がそのメリットを享受できるよう、「電子処方せんの運用ガイドライン」を、別紙 1 のとおり策定した。また、同ガイドラインにある「電子処方せん引換証」の様式を別紙 2 のとおり定めた。

同ガイドラインでは、

- ・電子処方せんの導入は、単に処方せんの電子化を進めるのではなく、地域医

療連携の取組と併せて普及させていくことで、医療機関と薬局との情報連携を一層進めていくものである

- ・電子処方せんへの医師、歯科医師及び薬剤師の署名については、HPKI（保健医療福祉分野における公開鍵基盤）を活用することで、処方せんの安全な送信を確保することとしている
- ・電子処方せんの運用のためのネットワーク回線等については、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインに従って回線の経路の暗号化等を実施するなど、セキュリティ面の対策を講じることとしている

など、運用の考え方や要件を示しているもので、貴職におかれては、その内容を十分御了知の上、本ガイドラインに沿って電子処方せんの運用が適切に行われるよう、貴管内の市町村（特別区を含む。）、関係機関及び関係団体等に周知いただくよう、お願い申し上げます。



医療等分野専用ネットワークについて



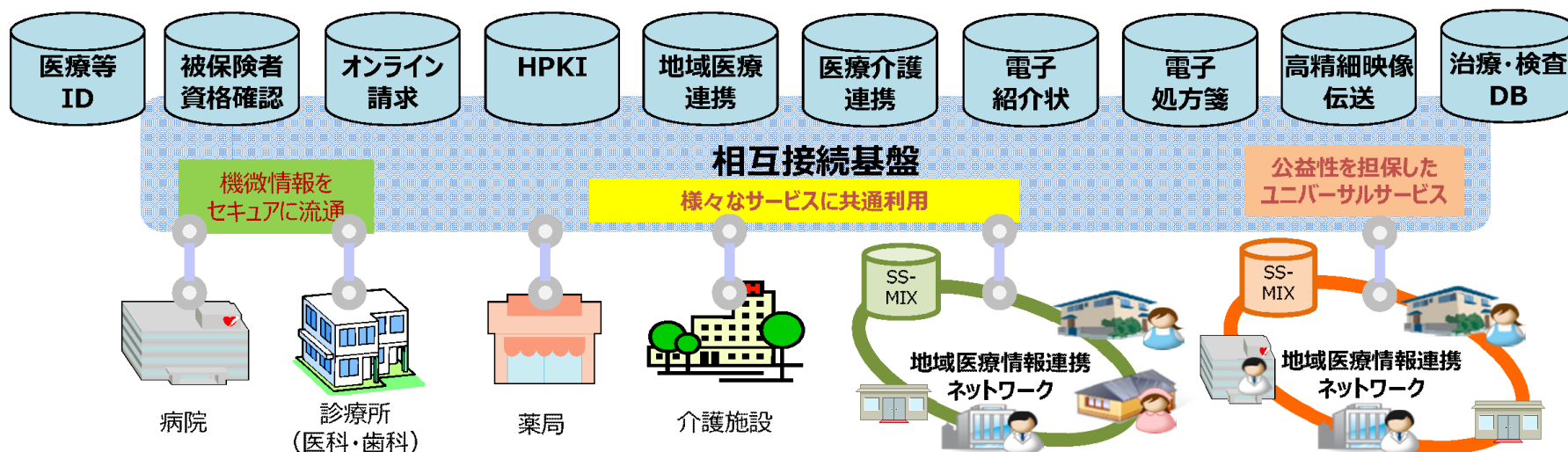
- 医療等分野においては、従来より目的別・地域別にネットワークが構築されてきましたが、今後見込まれる様々なサービス※の普及に向けては、**共通利用可能な、かつ高度なセキュリティが確保された公的広域ネットワーク**が必要不可欠と考えられます。
- ※ 医療等ID、被保険者資格確認、オンライン請求、HPKI、地域医療連携、医療介護連携、電子紹介状、電子処方箋、高精細映像伝送、治療・検査DB等
- 上記の実現に向けて、医療等分野のデータ共有基盤（以下、「**相互接続基盤**」という）の構築が求められています。

<医療等分野のネットワークにおける現状>

- 医療介護連携、電子紹介状、電子処方箋、治療・検査DB等、機微な情報を扱う様々な医療等のサービスを共通利用するための高度なセキュリティが確保されたネットワークが存在しない。
- 医療等ID、被保険者資格確認、HPKIの普及に向け、悉皆性のある公的全国ネットワークが必要。

<解決の方向性（基本コンセプト）>

- 安心安全なネットワーク**
厳格な認証のもとに、医療情報を安心して流通可能
- 全体最適化されたネットワーク**
医療等分野の様々なサービスを効率的に利用可能
- ユニバーサルサービスとしてのネットワーク**
公益性を担保し、全国をカバー可能



※なお、ネットワーク構築にあたっては既存のネットワークを活用することも視野に入れる。

図 相互接続基盤イメージ

2. 本事業の目的

- 本事業は、基本コンセプトをもとに相互接続基盤の実用化にあたり必要となる「**技術・運用面**」の課題解決を目的とします。
- 技術課題として、「複数種類の回線を相互接続するIX機能」、「セキュリティ対策」、「地域医療情報連携ネットワークの広域MPI機能」等、運用課題として、「普及促進策」、「ネットワーク接続要件」、「審査・監査ルール」、「開通・運用オペレーション」等が挙げられます。

<基本コンセプト>

安心安全なネットワーク

全体最適化されたネットワーク

ユニバーサルサービスとしてのネットワーク

※枠内は解決すべき技術・運用課題を示す

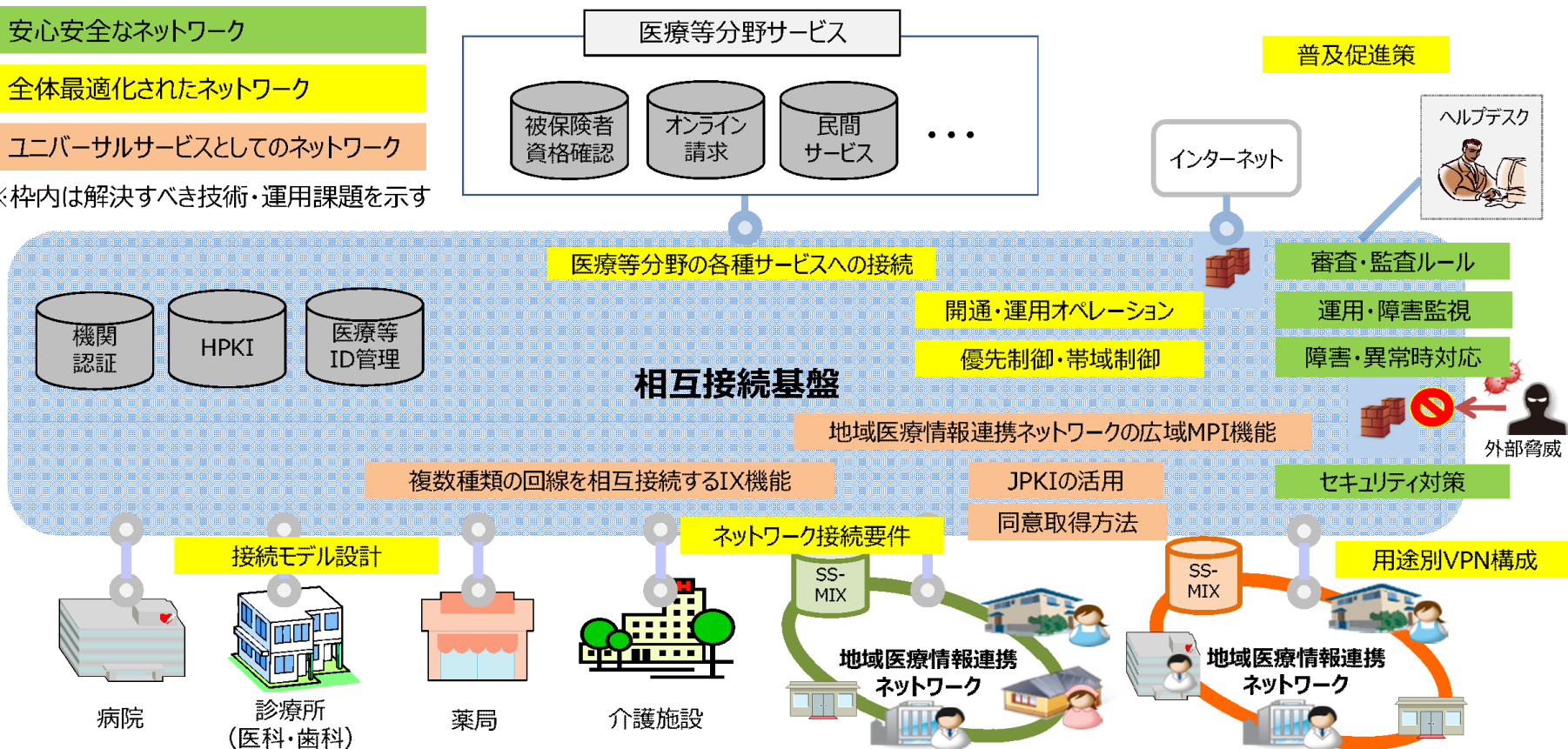
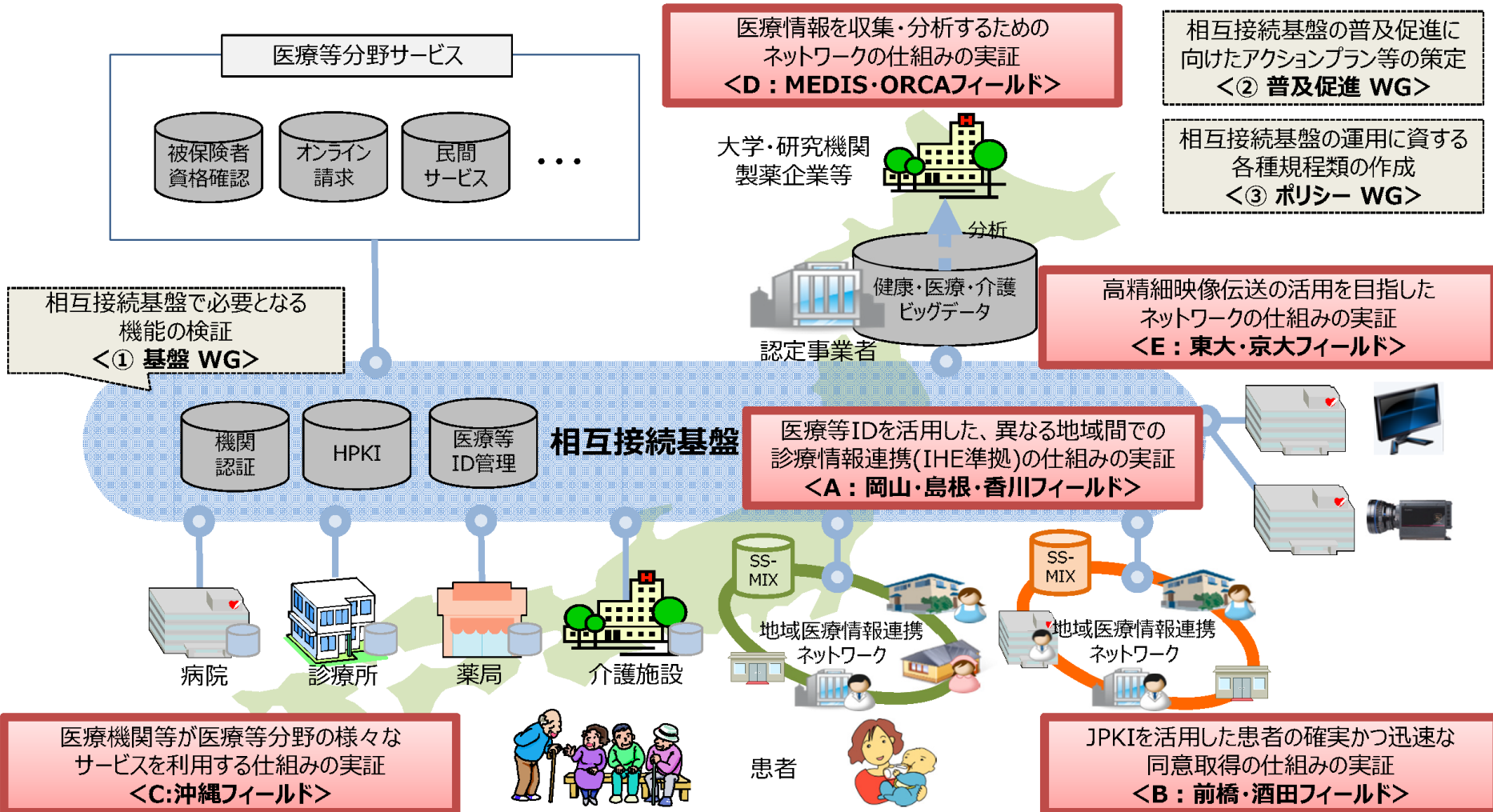


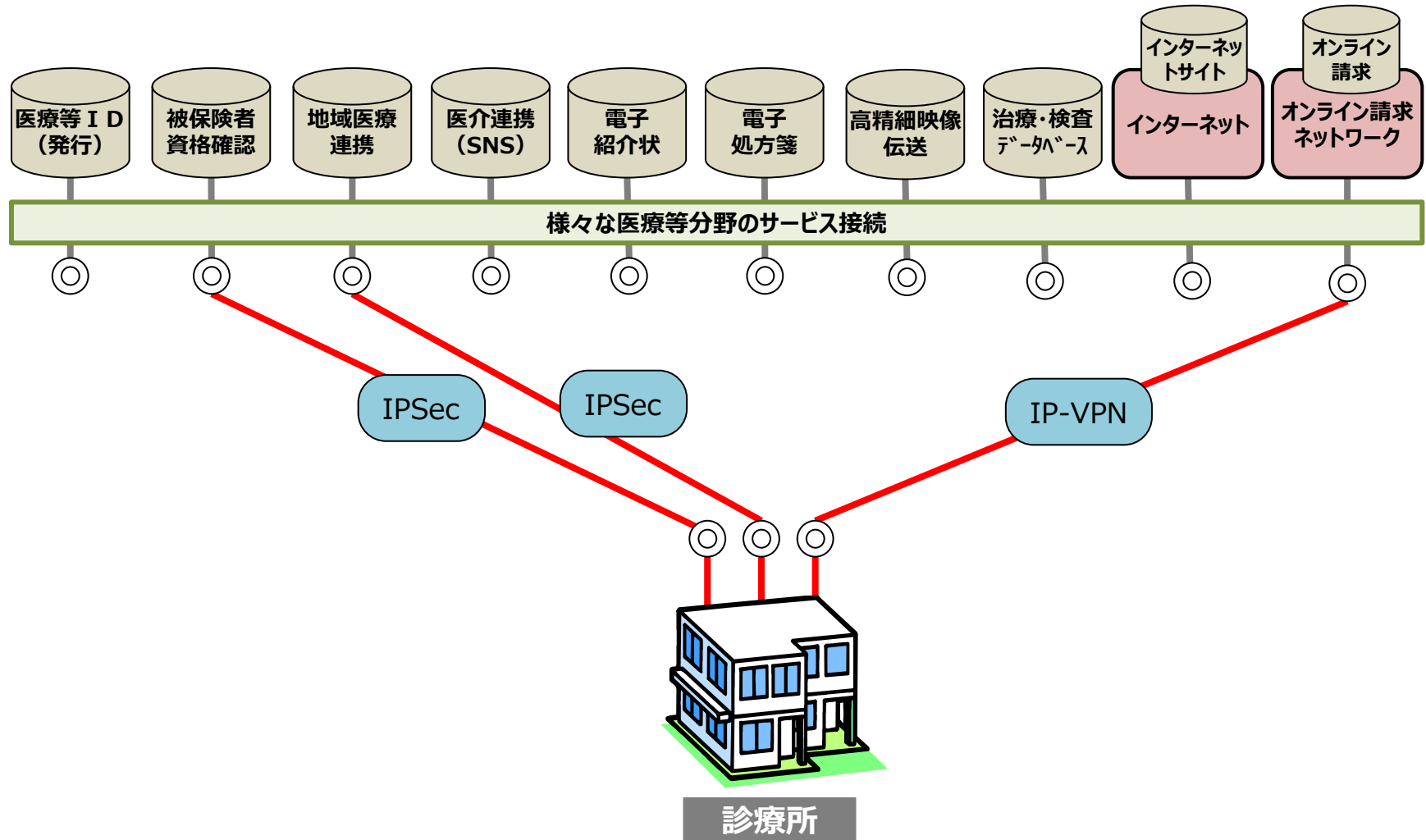
図 解決すべき技術・運用課題

3. 本事業の概要

- これら課題を踏まえ、テーマ別に3つの検討WG「**①基盤**」、「**②普及促進**」、「**③ポリシー**」、および、5つのフィールド実証WG「**A:岡山・島根・香川**」、「**B:前橋・酒田**」、「**C:沖縄**」、「**D:MEDIS・ORCA**」、「**E:東大・京大**」にて、検証を行います。

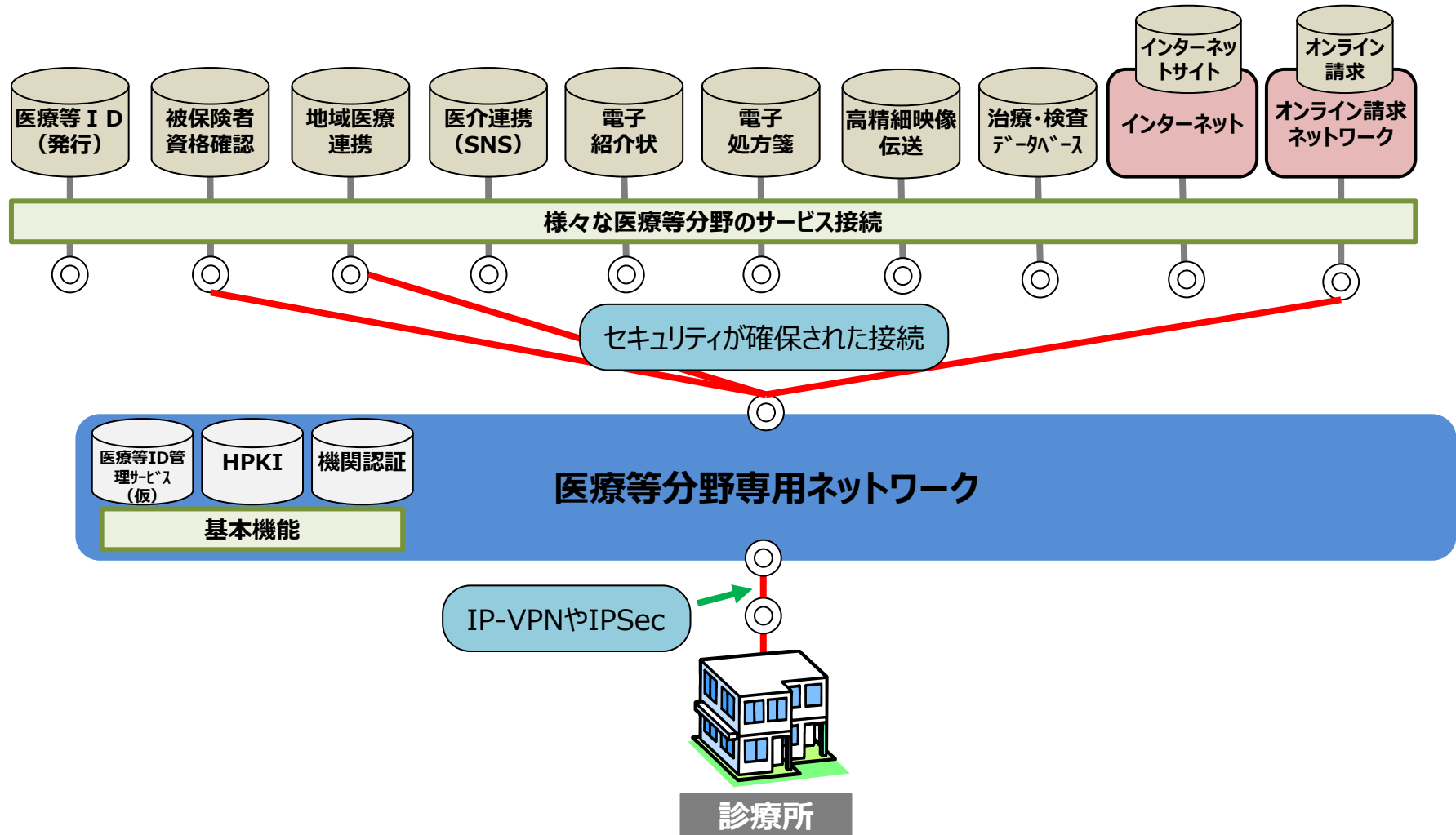


医療機関等におけるネットワークの現状



- それぞれの目的別に複数の回線 (VPN) を利用
- 複数の回線契約 (それぞれに料金の支払)

医療等専用ネットワークが目指す姿



- ひとつの回線 (VPN等) を利用して、安全に様々なサービスを利用
- 回線は、どれかひとつと契約するだけ

ご清聴ありがとうございました

